

## 平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	環境情報科学特論A (Environmental Information Science A )		授業コード	M007301
担当教員名	坂井 美穂		科目ナンバリングコード	R20103
配当学年	1	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	とくにありません。			
受講心得	日常から環境問題や情報の取り扱いについて興味を持つようにしてください。講義形式で行いますが、一部演習を含みます。			
教科書	なし;講義時にプリント配布			
参考文献及び指定図書	講義時に提示します。			
関連科目	環境情報科学特論B			

授業の目的	本講義では、環境白書／循環型社会白書／生物多様性白書を用い、環境情報を切り口に環境問題の各領域における問題発見および解決手法について習熟することを目的とする。
授業の概要	環境問題を理解するには、環境問題全般への関心が必要不可欠であるため、日々の環境問題に関するニュースについても解説を行うとともに、環境問題に関する知識、データの読み方について講義を行う。 環境情報科学特論Aではとくに全般的な環境問題と公害問題を中心に講義を行う。 なお、課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：環境情報科学とは何か</b>  現代は、「環境と情報」の時代であり、環境問題を論じるには、複眼的な視点・複合的な思考を持つ必要がある。4回の講義で、環境問題を論じるために必要な環境情報科学とは何か、環境の特徴と考え方について学ぶ。課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。	予習; 指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h) 復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)
<b>第2週：環境情報科学とは何か</b>  第1週～第4週まで継続して行う 課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。	予習; 指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h) 復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)
<b>第3週：環境情報科学とは何か</b>  第1週～第4週まで継続して行う 課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。	予習; 指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h) 復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)
<b>第4週：環境情報科学とは何か</b>  到達目標; 第1～第4週までの内容を総括し、企業が行っている環境負荷低減技術について理解することができる。 課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。	予習; 指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h) 復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)
<b>第5週：地域環境と地球環境</b>	予習; 指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h)

<p>地域環境として大分県の環境やそこで起こっている問題点について学び、地球環境との比較を行う。 課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。</p>	<p>復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)</p>
<p><b>第6週：地域環境と地球環境</b></p> <p>到達目標：地域環境として大分県の環境やそこで起こっている問題解決手法を探し出すことができる 課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。</p>	<p>予習;指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h)</p> <p>復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)</p>
<p><b>第7週：公害問題と環境問題</b></p> <p>公害問題は、社会的な災害であり、一方、環境問題は、生活の中で引き起こされた災害であると言える。環境基本法や公害問題の過去の事例をひもとき、公害問題とは何か、環境問題とは何か比較し、相違点について考察を行う。 課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。</p>	<p>予習;指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h)</p> <p>復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)</p>
<p><b>第8週：公害問題と環境問題</b></p> <p>第7週～第9週まで継続して行う 課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。</p>	<p>予習;指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h)</p> <p>復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)</p>
<p><b>第9週：公害問題と環境問題</b></p> <p>第7週～第9週まで継続して行う 課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。</p>	<p>予習;指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h)</p> <p>復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)</p>
<p><b>第10週：公害問題と環境問題</b></p> <p>到達目標：第7週～第9週までの内容を総括し、公害問題と環境問題との相違点について理解し、説明できることができるようになることを目的とする 課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。</p>	<p>予習;指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h)</p> <p>復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)</p>
<p><b>第11週：環境問題へのアプローチ</b></p> <p>環境問題のアプローチには様々なアプローチの方法があるが、様々な企業が行っている環境負荷低減への技術について紹介を行うとともに、企業の環境マネジメント活動についても紹介を行う。 課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。</p>	<p>予習;指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h)</p> <p>復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)</p>
<p><b>第12週：環境問題へのアプローチ</b></p> <p>複数の企業の例を取り上げ、第11～第14週まで継続して行う。 課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。</p>	<p>予習;指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h)</p> <p>復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)</p>
<p><b>第13週：環境問題へのアプローチ</b></p> <p>複数の企業の例を取り上げ、第11～第14週まで継続して行う。 課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。</p>	<p>予習;指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h)</p> <p>復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)</p>
<p><b>第14週：環境問題へのアプローチ</b></p> <p>複数の企業の例を取り上げ、第11～第14週まで継続して行う。 課題返却は翌週行い、課題について講義内で解説を行う。</p>	<p>予習;指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h)</p> <p>復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)</p>
<p><b>第15週：まとめ</b></p> <p>到達目標：第11～第14週までの内容を総括し、企業が行っている環境負荷低減技術について理解することができる。知識の定着を見るために、総合レポートを課します</p>	<p>予習;指定した環境白書等の関連内容をを読んでくること(2h)</p> <p>復習 講義資料を参考に演習課題レポートを作成すること(2h)</p>

第16週:		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①正当な理由のない遅刻や欠席がなく、講師の話を傾聴することができる。 ②不明点について、積極的に質問し、理解を深めることができる。 ③理論を実践するために、自主学習を行うことができる。
【知識・理解】	環境問題について基礎的な知識を他者に説明することができる
【技能・表現・コミュニケーション】	環境問題についてデータをもとにレポートを作成することができる
【思考・判断・創造】	環境問題についてデータを解析し、判断することができる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	15点	10点		
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		25点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	20点	20点		

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他 (無形成果)	